



新たな門出、飛躍を決意

令和5年阿南市二十歳の成人式

1月8日、文化会館で「令和5年阿南市二十歳の成人式」が開催されました。今回の該当者は、平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの方で、704人のうち559人が出席し、それぞれの夢の実現に向けて一歩を踏み出しました。

式は、新型コロナウイルス感染症対策として、午前の部（桑野・新野・橋・椿・福井・那賀川・羽ノ浦地区）と午後の部（富岡・中野島・宝田・長生・大野・加茂谷・見能林地区）の2部制で実施。表原市長は、「社会に出て、失敗を恐れず自分の思いを行動に変えてほしい。信じて進む道の先が輝かしい光景であるよう祈念しています」と激励。プロ野球の杉本裕太郎選手からのお祝いのビデオメッセージも上映されました。

式終了後には、芸人のおばたのお兄さんとみつとしーがサプライズ登場。会場を大いに盛り上げました。出席者は、仲間との再会を喜び、写真を撮り合うなど旧交を温めていました。



二十歳の決意（要旨抜粋）



丸山蒼太さん

私たちは、自然豊かな阿南市に生まれ、たくさんの方々の知恵や経験が身に付いてきました。

成長してきました。夢や希望を持って生きていく中で、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常は一変しましたが、目の前にある当たり前の生活の大切さを改めて考える機会となりました。とりわけ人の繋がりの重要性を痛感し、人はお互いに助け合って生きていることを再認識することができました。

新しい生活の中、苦しいことや大変なこともあります。ふと思いつくのは、自然に育ちながら人の温かみ溢れる地元での思い出です。私にとって、阿南市での生活は宝物であり、心の支えとなっています。



仲村花望さん

私たちは、たくさんの方から愛情を受けながら、二十歳という節目の年を迎えました。

これからも、周りの人々への感謝の気持ちを忘れず、日々努力を重ねていきたいと思えます。そして、成人としての自覚を常に忘れず、責任ある行動や人を思いやる優しい心を持って精進してまいります。

成人式実行委員会
作成したプログラム
表紙



成人式実行委員（午前の部・敬称略）
（後列左から）中林美空、小池紗夢、久保田 董、
下野朝光（前列左から）小川恭祐、大城穂高、
篠原朱登、丸山蒼太、亀島知起



成人式実行委員（午後の部・敬称略）
（左から）尾鼻彩華、前川優希奈、仲村花望、
吉永圭吾